



平成23年10月12日

平成23年度東京湾消防相互応援協定に基づく合同消防演習を実施
—東京湾の安全を図るため、消防機関が合同で大規模な消防演習—

東京湾内を航行する船舶や各都市の沿岸施設等に大規模災害が発生した場合、東京湾消防相互応援協定（平成2年5月29日締結）に基づく、協定都市相互の応援体制、関係機関との連携強化、実戦に即した部隊運用並びに消防活動技術の向上を図り、災害の拡大防止及び地域住民の安全確保を目的として次のとおり実施いたします。

1 日時

平成23年10月14日（金） 15時00分から16時00分まで

2 場所

江東区若洲一丁目4番3号

東京港第三区15号地若洲内貿ふ頭及び周辺海域（別図1、2参照）

3 参加機関等

(1) 実施機関（東京湾消防相互応援協定締結都市）

- ア 東京消防庁（東京都）
- イ 川崎市消防局（川崎市）
- ウ 市川市消防局（市川市）
- エ 横浜市消防局（横浜市）
- オ 千葉市消防局（千葉市）

(2) 協力機関

- ア 日本通運株式会社
 - イ 若洲協議会
 - ウ 東海汽船株式会社
 - エ 日鐵物流株式会社
- （別紙参照）

4 参加隊

(1) 消防機関

【東京消防庁】

消防艇8艇（水難救助隊2隊）／消防ヘリコプター2機／特別救助隊2隊／はしご隊等5隊
ポンプ車等7隊／10t水槽車3隊／DMAT連携隊1隊／救急隊等7隊／指揮隊4隊
その他2隊

計41隊

【川崎市消防局】

消防艇1艇／消防ヘリコプター1機

計2隊

【市川市消防局】

消防艇1艇

計1隊

【横浜市消防局】

消防艇 1 艇／消防ヘリコプター 1 機

計 2 隊

【千葉市消防局】

消防艇 1 艇／消防ヘリコプター 1 機

計 2 隊

合計 消防艇：1 2 艇／消防ヘリ：5 機／消防車両 3 1 台

(2) 消防団

【城東消防団第 7 分団】

消防団可搬ポンプ積載車 2 台

5 参加人員

- (1) 東京消防庁 3 1 5 名
- (2) 川崎市消防局 1 1 名
- (3) 市川市消防局 5 名
- (4) 横浜市消防局 1 4 名
- (5) 千葉市消防局 1 4 名
- (6) 城東消防団 9 名
- (7) 日本通運株式会社自衛消防隊 8 名
- (8) 若洲協議会 9 名

合計 3 8 5 名

6 演習想定

- (1) 平成 2 3 年 1 0 月 1 4 日（金）1 5 時 0 0 分、首都直下を震源とするマグニチュード 7. 0 の地震が発生、京浜港東京区第三区 1 5 号地若洲内に積み上げられたタンクコンテナの一部が落下し危険物が流出、着火炎上する。
- (2) 岸壁に接岸しようとしていた貨物船が岸壁に激突、水面下に破口を生じ燃料が漏れ始めるとともに、船が傾き積載していた貨物が陸上部分に荷崩れを起こす。
- (3) 貨物船を沖合に避難させるが、岸壁の火災が延焼拡大し貨物船から漏えいした船舶燃料に引火し大規模な沿岸施設及び船舶火災に発展したため、消防隊は東京湾消防相互応援協定に基づく協定締結都市の消防機関に対して応援要請を行う。
- (4) 余震の発生により、沖合 4 0 0 m にある貯木場の材木等が流出、近くを航行していた客船がこれを避けようとして、ケーソンに激突、多数の乗客が海上に放り出され大規模な救助救急事象に発展する。

7 実施内容

別表及び別図 3 から別図 8 参照

8 取材にあたっての注意事項

- (1) 事前レクチャーを 1 4 時 3 0 分から本部テント脇で行います。
- (2) 荒天等により訓練を中止する場合があります。その場合 1 0 月 1 4 日（金）8 時 3 0 分までに決定しますので、広報課報道係までご確認ください。
- (3) 車両で訓練会場にお越しの際は、駐車票を車両のダッシュボードに掲示し、訓練会場の指定

された場所に駐車してください。

※取材申し込み後に駐車表を事前に配布します。

- (4) 取材にあたっては、必ず自社腕章を付けてください。
- (5) 訓練会場内では、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。
- (6) 移動取材可能エリアでの取材について、訓練の動線に支障をきたさないようお願いします。
- (7) 取材時間終了後は、広報課報道係員の誘導で、訓練会場から退場してください。

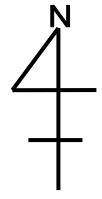
問合せ先

〔 東京消防庁(代) 電話 3212-2111 〕
〔 広報課報道係 内線 2345~2350 〕

演習会場周辺図



演習現場周辺図



別図3

会場全体図



演習概要構成

応港
援湾
隊災
相害
互に
対お
応け
訓練

第Ⅰステージ
(発災初動ステージ)

発見・通報・初期消火
情報収集・消火活動

若洲協議会、地元消防団等との連携
消防部隊が相互に連携した消火活動

第Ⅱステージ
(消防活動ステージ)

火災対応
消火・危険物対応

航空隊・舟艇隊・陸上部隊が連携した
消防活動
→危険物流出対応活動

第Ⅲステージ
(救助救急ステージ)

水難救助
救急活動

航空隊・舟艇隊・水難救助隊・陸上部隊が
相互に連携した救助救急活動

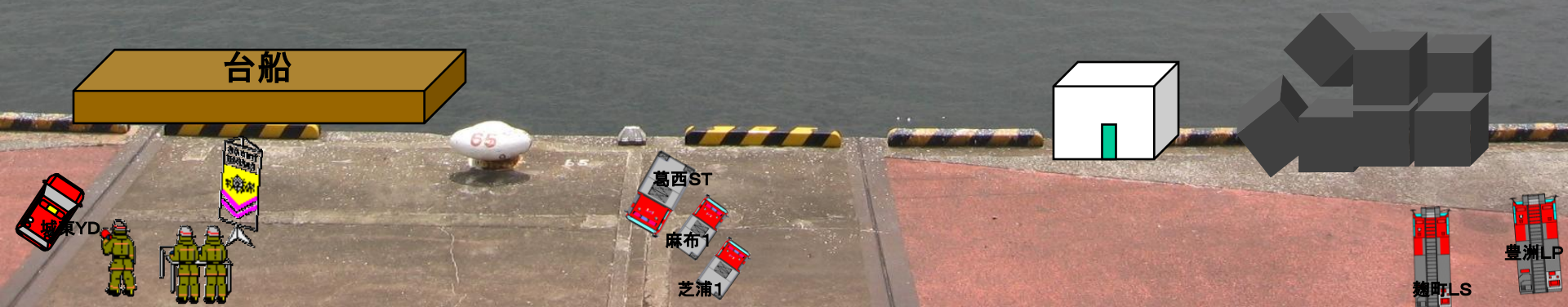
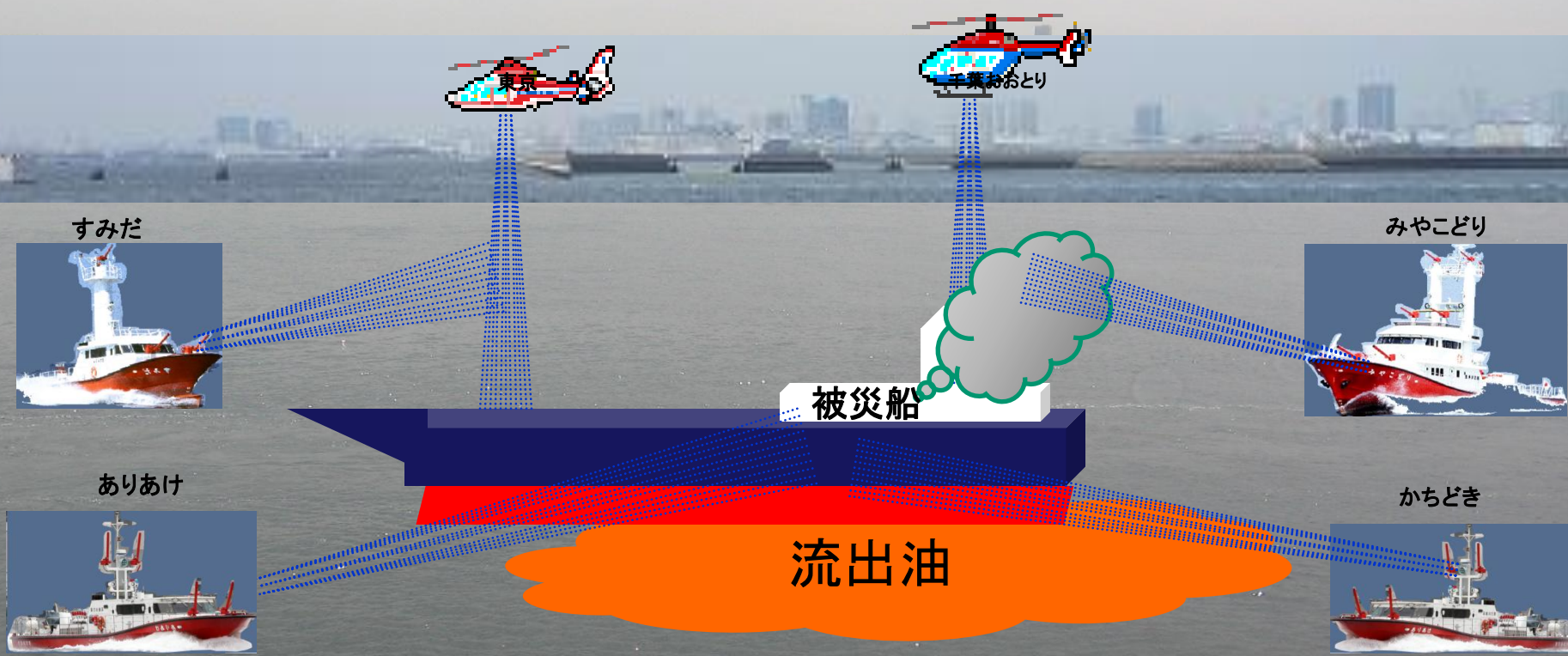
第Ⅳステージ

一斉放水

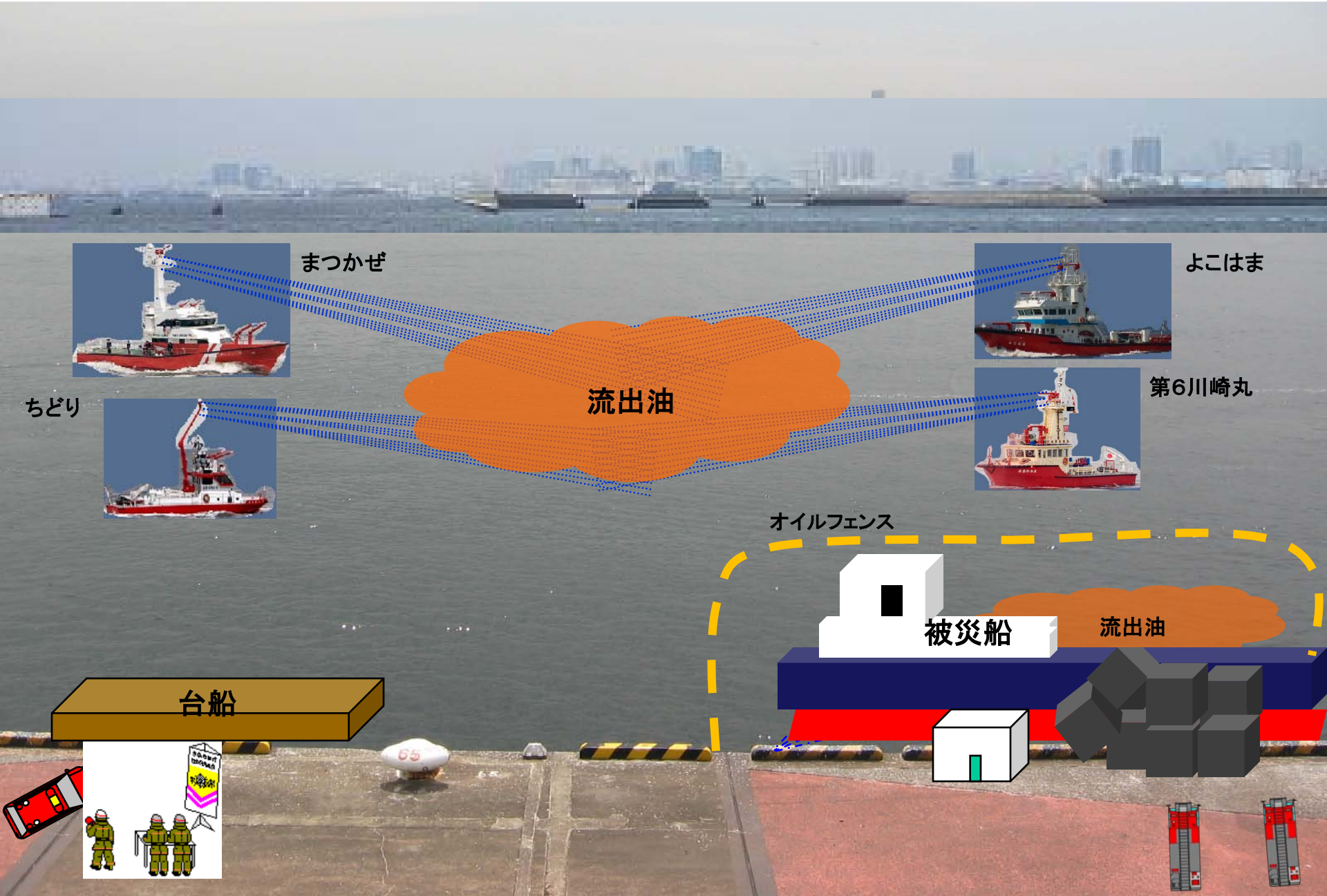
航空隊・舟艇隊・はしご隊・陸上部隊による
一斉放水

講評

第 2 ステージ



第 2 ス テ ー ジ



第 3 ステージ



被災船

はまかぜ

きよす

しぶき

はるみ

被災船

台船

第 4 ステージ 演習 概要 (一 斉 放 水)



使用船(被災船)



貨物船
総トン数 499トン
全長 約76m
日鐵物流株式会社保有

客船(ジェットフォイル)
総トン数 267トン
全長 約27m
旅客定員 260名
東海汽船株式会社保有



別表

東京湾消防合同演習時系列

ステージ	時間	項目	活動内容
	14:58	演習開始報告	第七消防方面本部長から警防部長へ
第1	15:00	地震発生	M7.0 タンクコンテナの落下、貨物船の激突
		自衛消防隊出場	自衛消防隊活動開始
	15:02	消防団出場	可搬ポンプ積載車2台
第2	15:04	消防隊出場	沿岸施設対応・指揮本部開設
	15:05	応援要請	協定都市への応援要請
	15:10	消防艇出場	消防艇による消火活動
	15:11	空中消火	消防ヘリによる空中消火
	15:12	拡散注水	協定都市艇による流出油の拡散注水
	15:23	オイルフェンス展開	当庁消防艇によるオイルフェンスの展開
第3	15:29	余震発生	客船の激突
	15:31	救助活動開始	消防ヘリからの水難救助隊のエントリー
	15:32	東京DMA T 出場	活動開始（都立墨東病院 医師1名、看護師2名）
	15:33	水上スクーター	水上スクーター・とはしご隊の連携による救助活動
		ホイスト救助	協定都市消防ヘリによるホイスト救助
15:37	多数傷病者対応	水上部隊と陸上部隊の連携による救出活動	
第4	15:51	一斉放水	消防艇、陸上部隊による一斉放水
	15:53	演習会場離脱	消防ヘリ上空通過、消防艇の離脱
	15:58	演習終了報告	第七消防方面本部長から警防部長へ